

に所属する方が対象です。

※参加費の課税区分はすべて課税です。

4. お支払い方法

銀行振込又は郵便振替でのいずれかをお願いします。詳細は申込受理通知メールをご参照ください。支払期限を過ぎてご入金を確認出来ない場合、事前登録は無効となります。会期当日に現地で当日登録手続きを行って下さい。

5. 領収書の発行

参加証等を事前送付する際に同封します。

6. 参加証等の送付

振込期限までにご入金を確認できた方に対して、予稿

集発行日以降に参加証等を送付します。なお、プログラム集の受け取りは事前配布と現地受け取りのいずれかを選択できます。

7. 予稿集 (Web)

期日までに入金を確認出来た方は、パスワードを発行し、予稿集 (Web) をご覧いただくことができます。

2. 公開企画へ参加の方

ウェブサイトの参加申込フォームからお申し込み下さい。登録完了後に受理通知メールが届きます。受理通知メールが参加証を兼ねますので、出力の上、当日受付にてご提出下さい。

日本化学会第 97 春季年会(2017)のお知らせ

第 97 春季年会実行委員会

第 97 春季年会(2017)は、2017 年 3 月 16 日(木)より 4 日間にわたり慶應義塾大学日吉キャンパス (予定) にて開催いたします。

春季年会は、化学に関する学術の進歩普及・産業の発展および生活の向上を狙いとして、およそ化学という言葉が包括するあらゆる学問領域や分野からの研究者が一堂に会して日頃の研究成果を発表する場であり、その討論を通じて学術交流を奨励・促進する場でもあります。例年多くの参加者が集うこの年会では 6,000 件にも及ぶ発表がなされますが、今回の春季年会におきましてもさらに多くの研究発表の応募を期待しています。

本号では通常の研究発表の募集に先立ち、特別枠として立案されている、産学官や産産の交流・連携のための企画「アドバンスト・テクノロジー・プログラム (ATP)」を紹介いたします。

これに加え、3 時間の枠で自由にシンポジウムを企画していただく「特別企画」、プロジェクトの成果報告など広く一般の方々も無料で聴講可能となる「コラボレーション企画」、会期中に日本滞在する著名な外国人研究者による「外国人の特別講演」、次世代を担う若手研究者による「若い世代の特別講演会」の募集を行いますので、奮ってご応募下さい。

なお、本年会のお知らせは本誌会告欄(8・10・11・1・3月号)でお伝えするとともに、最新情報をウェブサイト(<http://www.csj.jp/nenkai/>)にて随時公開していきますので、併せてご覧下さい。

主催 公益社団法人日本化学会

共催 慶應義塾大学理工学部

会期 2017 年 3 月 16 日(木)~19 日(日)

会場 慶應義塾大学日吉キャンパス (神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1) ※予定

実行委員長 鈴木 孝治 (慶應義塾大学理工学部・教授)

内容 アカデミック・プログラム (AP: 一般研究発表) (口頭・ポスター)

アドバンスト・テクノロジー・プログラム (ATP) (口頭・ATP ポスター)

外国人の特別講演・受賞講演・特別企画・展示会・表彰式・懇親会・市民公開講座・コラボレーション企画
中長期テーマ・アジア国際シンポジウム・イブニングセッション・若い世代の特別講演・その他委員会企画他

特筆事項 日本化学会では、年会の国際化を推進する中で英語での講演を推奨しています。会員各位のご協力で英語講演件数は顕著に増加しており、96 年会にて口頭 B 講演の英語化率は、43.4% となりました。

第 97 春季年会ではさらなる増加が望まれます。つきましては、以下のカテゴリーに該当する方は英語での講演に積極的に取り組まれますようお願いいたします。

・年会発表経験者、B 講演、学術関連の受賞講演

また、ポスター発表 (AP) については、ポスターパネルの英語での作成を強く推奨いたします。(96 年会では英語化率 69%)

重要な日程 講演申込期間 2016 年 11 月 10 日~11 月 28 日 詳細は本誌 10 月号

予稿原稿提出期間 2017 年 1 月 5 日~1 月 16 日

参加予約期間 2017 年 1 月 5 日~2 月 17 日 詳細は本誌 1 月号

プログラム公開 2017 年 2 月 13 日 (予定)

予稿集発行日 2017 年 3 月 3 日 (予定)

問合せ先 日本化学会 企画部 年会係
〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5
電話 (03) 3292-6163 FAX (03) 3292-6318 E-mail: nenkai@chemistry.or.jp
URL: <http://www.csj.jp/nenkai/>

アカデミック・プログラム (AP: 一般研究発表) の講演申込者および登壇者は、原則として本会会員に限り、発表予定の方で未入会の方は、お早めに当会ウェブサイト (<http://www.csj.jp/kaiin/index.html>) よりご入会の手続きをお願いいたします。入会手続きに関してのお問合せは、下記までお願いいたします。

問合せ先 日本化学会 総務部 会員担当
〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5
電話 (03) 3292-6169 FAX (03) 3292-6317 E-mail: member@chemistry.or.jp

1. アドバンスト・テクノロジー・プログラム (ATP)

春季年会では、産業界が注目する化学技術分野で、産学官の参加者が講演や発表・討議を通じて交流深耕を図ることを目的として、2005年よりアドバンスト・テクノロジー・プログラム (ATP) を実施してきました。13年目を迎える今回の ATP では、産業界注目の3分野で企画内容を刷新した ATP セッション、産業ニーズと研究シーズのマッチングの場である ATP ポスター、誰もが気軽に face-to-face で交流できる ATP 交流会など、産学官連携のきっかけを掴める多くの場を提供します。

開催期間 2017年3月16日～19日

※実施セッションにより異なる

開催場所 慶應義塾大学※第97春季年会会場内

実施セッション (各タイトルは仮称)

T1. 化学が拓くエネルギーイノベーション

A. 太陽エネルギー変換技術の進展, B. 水素技術が拓く新エネルギー社会, C. 次世代二次電池開発の最新動向, D. 省エネルギー社会を目指した革新的製造プロセス

T2. 話題の技術～実用化のカギを握る新素材～

A. IoT社会を切開くヒューマン、ロボットインターフェース材料の研究最前線, B. セルロースナノファイバーの研究最前線 2017, C. 生物から学ぶ、バイオミメティクス研究最前線, D. 機能性膜材料の研究最前線

T3. 未来のヘルスケアを支える革新技術

A. 未来医療を支える生体適合性材料, B. センシング技術が切り開く未来のヘルスケア, C. 未来のヘルスケアを切り拓くバイオベンチャー

※最新情報はウェブサイト (<http://www.csj.jp/nenkai/>) にて随時公開いたしますのでご覧下さい。

2. 春季年会実行委員会と学術研究活性化委員会の合同企画

春季年会では、中・長期戦略に基づくシンポジウム「中長期テーマ」を6件実施予定です。

「分子設計と分子技術：社会に発展・革新をもたらす新機能の創出」

「動的表面・界面錯体化学の最前線—構造から機能への展開—」

「人工光合成フロンティア 2017」

「複雑系のための分子科学—理論, 計測, 合成の連携で拓く柔らかな分子の新機能」

「Ex vivo バイオデバイスの創成と生体分子科学への展開」

「生体高分子精密合成とケミカルバイオロジー」

趣旨やプログラムにつきましては、ウェブサイト (<http://www.csj.jp/nenkai/>) にて随時更新いたします。また、詳細につきましては本誌1月号に掲載予定です。

3. 「特別企画」企画案の募集

毎年、春季年会のプログラムに「特別企画」が組み込まれ好評を得ておりますが、本年会でも会員の皆様より企画案を下記要項により募集いたします。

特別企画は、3時間の枠内 (9時30分～12時30分または13時30分～16時30分) で自由に企画いただけます。特別企画は原則として初日と最終日に開催することとなり、開催日および時間帯は実行委員会が決定いたします。企画内容は下記のいずれかを満たす企画とします。なお、実行委員会では、講演者、座長の方への謝礼、旅費等のお支払いはしていません。あらかじめお含み置き下さい。※下記とは異なる企画を実施したい場合は、本項4. 「コラボレーション企画」へお申し込み下さい。

- 産・官・学の意見交換を積極的に行うための企画
- 新分野・新領域の開拓に向けての企画で産業界からの参加が見込まれるもの
- 他分野への発展を図る企画や、学際領域を積極的に開拓するための企画
- 研究最先端のトピックスをまとめて情報提供するための企画

応募いただきました企画案は、講演企画小委員会および実行委員会にて検討し、15件程度を採択させていただきます。採択された特別企画につきましては、10月末までに最終企画書を再提出いただきます。

応募の際には別枠で企画されている「中長期テーマ」および「アドバンスト・テクノロジー・プログラム (ATP)」等の内容と重複しないようにご注意ください。上記企画内容の詳細はウェブサイト (<http://www.csj.jp/nenkai/>) にてご確認ください。

開催日 第97春季年会会期の初日もしくは最終日

開催時間 9時30分～12時30分もしくは13時30分～16時30分

応募方法 応募用紙を春季年会ウェブサイトより入手し、必要事項をご記入の上、E-mail にてご応募下さい。

- 企画タイトル (和文/英文/略称)
- 本企画に関連が深い一般講演の分野

3. 本企画を今年度の春季年会で提案する理由、意義
4. 趣旨文(約300字)
5. プログラム案もしくは講演者案
※講演者については、予め、内諾を取って下さい。その際には、予稿原稿(2ページ)と略歴が必要であることも合わせてご連絡下さい。
6. 開催予定日(2017年3月16日および19日)のうち、都合の悪い時間帯をお知らせ下さい。
7. 予想聴講者数
8. 企画責任者氏名、所属(官学界、産業界各1名)
※日本化学会の個人の会員である必要がございます。
9. 応募者氏名および連絡先
(勤務先所在地、電話番号、E-mail)

締切 2016年9月20日(火) 締切厳守

応募先 日本化学会 企画部 年会係

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp 電話(03)3292-6163

4. 「コラボレーション企画」企画案の募集

「特別企画の趣旨とは異なるが、春季年会にてシンポジウムを実施したい」というニーズに答えるべく、春季年会とのコラボレーションを意味した「コラボレーション企画」というコンテンツを用意いたしました。下記に該当する企画の場合は、企画実施料をお支払いいただく、コラボレーション企画としてお申し込みが可能です。なお、本企画は、会場割付終了後に会場が空いている場合のみ開催が可能です。また、開催日および時間帯は実行委員会が決定いたします。

1. 商業的(自社製品の紹介など)な周知を目的としたシンポジウム
2. プロジェクトの成果報告を目的としたシンポジウム
3. 化学会以外の授賞式(講演、報告会)を目的としたシンポジウム など

応募いただきました企画案は、講演企画小委員会および実行委員会にて検討し、採択させていただきます。採択されたコラボレーション企画につきましては、11月初旬までに1月号会告原稿を提出いただきます。

開催日 全日から選択可能です。※ただし、会場が空いている場合に限る。

開催時間 A) シンポジウム形式(9時30分~12時30分もしくは13時30分~16時30分)、
B) ランチョン形式(11時~13時)

主な特徴 ◆本企画の聴講者の参加登録について

春季年会の参加登録は不要です。広く一般の方や化学会と関わりのない方も無料で聴講することが可能となります。

◆開催日について

全日から選択可能です。ただし、会場割付終了後に会場が空いている場合のみ開催可能です。

応募方法 応募用紙を春季年会ウェブサイトより入手し、必要事項をご記入の上、E-mailにてご応募下さい。

1. 申込形式および開催希望日
A) シンポジウム形式 B) ランチョン形式
2. 企画タイトル(和文/英文/略称)

3. 趣旨文(約300字)
4. 会場規模
5. 応募者氏名および連絡先
(勤務先所在地、電話番号、E-mail)

締切 2016年9月20日(火) 締切厳守

応募先 日本化学会 企画部 年会係

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp 電話(03)3292-6163

5. 「外国人の特別講演」候補者の推薦について

本年会会期中に日本に滞在され、これを機にご講演(講演時間50分)願える外国人候補者の推薦をお願いいたします。ご推薦いただきました候補者については、講演企画小委員会および実行委員会にて検討し、採択させていただきます。なお、実行委員会では、薄謝をお支払いするのみで、渡航費用、国内滞在費等のお支払いおよび接待はいたしかねますので、あらかじめお含み置き下さい。

講演日時 第97春季年会会期中(採択時に決定)

講演時間 50分

推薦方法 応募用紙を春季年会ウェブサイトより入手し、必要事項をご記入の上、E-mailにてご応募下さい。

1. 講演候補者名・所属・役職・国名・演題(仮題)
2. 専門(なるべく詳しく)および推薦理由
3. 略歴(年齢もお書き下さい)
4. 講演希望日(会期中で、半日単位、第3希望までお知らせ下さい。なおご希望にそえない場合もありますのであらかじめご了承下さい。例:3月17日午後)
5. 講演会場希望(特別講演用会場もしくは一般会場)
6. 推薦者氏名および連絡先(勤務先所在地、電話番号、E-mail)

締切 2016年9月20日(火) 締切厳守

※以後、11月中旬までは事務局へご相談下さい。

推薦先 日本化学会 企画部 年会係

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp 電話(03)3292-6163

6. 第31回若い世代の特別講演会講演者募集

化学および化学技術の将来は、若い世代の双肩にかかっております。本会では毎年年会の際に若い世代の研究者を励まし、次代の化学および化学技術をさらに活性化するために標記講演会を企画し、意欲的に研究を行っている若手研究者に“特別講演”の機会を設けております。この講演に対しては、本会会長から特別講演証も贈られ、また、本誌に執筆の機会がありますので、奮ってご応募下さいますようご案内いたします。

会期 第97春季年会会期中

会場 第97春季年会会場〔慶應義塾大学〕

講演件数 選考の上、20件以内(講演時間:25分+討論5分)

応募資格 本会に1年以上在籍する40歳以下(講演会が行われる年(2017年)の4月1日現在)の個人会員。ただし、過去に若い世代の特別講演に受賞している者および本会進歩賞を受賞している者の申込資格はない。

応募方法 応募用紙を春季年会ウェブサイトより入手し、必要事項をご記入の上、E-mailにてご応募下さい。

- 講演申込書 (①講演部門, ②講演題目, ③氏名, ④生年月日, ⑤会員番号, ⑥所属, ⑦連絡先, ⑧略歴)
- 講演内容 (図表を含め2枚)
- 講演に直接関連した発表論文リスト (学会発表, 特許等を含み10件以内)
- 申請趣旨 (研究の意義と独創性を400字以内にまとめたもの)

講演部門 1. 物理化学, 2. 無機・分析化学, 3. 有機化学, 4. 材料化学・高分子化学, 5. 天然物化学・生体関連化学 (医農薬を含む), 6. 複合領域 (情報・計算機化学, 地球化学, 環境化学, 資源・エネルギーを含む)

締切 2016年9月20日(火) 締切厳守

応募先 日本化学会 企画部 年会係
E-mail: nenkai@chemistry.or.jp 電話(03)3292-6163

2016年分会費一覧(中高生会員追加)

個人会費(個人正会員・学生会員・中高生会員・教育会員) [不課税]

会員種別と会誌名	入会金(円)	年額(円)	
		国内	国外
個人正会員(配布会誌:月刊・化学と工業)	1,000	9,600	12,300
同上割引:60歳以上で定職に就いていない方(通称:シニア会員)	1,000	6,000	12,300
学生会員(配布会誌:月刊・化学と工業)	不要	6,000	7,200
学生会員(配布会誌:月刊・化学と教育選択 通称:教育学生会員)	不要	4,800	7,200
同上割引:学部3年以下の方(専攻科1年以下の高専生を含む) 配布会誌:月刊・化学と工業または化学と教育を選択(通称:ジュニア会員)	不要	3,000	7,200
中高生会員(配布会誌なし)	不要	1,000	—
中高生会員(配布会誌:月刊・化学と工業または化学と教育を選択)	不要	3,000	—
教育会員(配布会誌:月刊・化学と教育)	不要	7,200	8,400

※個人会員(個人正会員, 学生会員, 中高生会員, 教育会員)の方の会誌追加費は以下のとおりです。[内税]

会員種別と会誌名	入会金(円)	年額(円)	
		国内	国外
化学と教育(教育会員会誌・月刊・個人正会員, 学生会員が追加する場合)	—	5,400	6,000
Bull. Chem. Soc. Jpn. (BCSJ) (英文論文誌・月刊・希望会員に配布) 冊子体	—	10,200	15,000
BCSJ 冊子体+Web版(BCSJとCL両誌の閲覧可)	—	15,200	20,000
Chem. Lett. (CL) (英文速報論文誌・月刊・希望会員に配布) 冊子体	—	7,200	9,600
CL 冊子体+Web版(BCSJとCL両誌の閲覧可)	—	12,200	14,600
BCSJ+CL Web版のみ	—	10,000	10,000
BCSJ+CL 冊子体+Web版	—	17,400	24,600

法人正会員会費 [不課税]

法人正会員の年間会費は, 1口25,000円で4口(100,000円)以上となっております。

法人正会員には, 会誌を無償配布する, 年会等行事へ参加する法人正会員所属の個人が本会非会員でも個人正会員参加費と同額にする, という特典があります。冊数, 人数は会費口数により異なります。また5口以上ですと論文誌(BCSJ, CL)のWeb版が無料で閲覧することができます。詳細は下記にお問い合わせ下さい。

公共会員会費 [不課税]

公共会員(学校, 公共図書館, 公共研究機関)の年間会費は, 配布を受ける会誌により異なり, 次のとおりとなります。複数の会誌の配布を受ける場合はそれらの合計が年間会費となります。会誌はいずれも月刊です。

化学と工業(個人正会員・学生会員用の会誌)	24,000円
化学と教育(教育会員用の会誌)	9,000円
Bulletin of the Chemical Society of Japan (BCSJ) (英文論文誌) (Web版閲覧可)	72,000円
Chemistry Letters (CL) (英文速報論文誌) (Web版閲覧可)	45,600円